

ようじえんだより 2023年度5月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地

Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

5月主題『動き出す』

主題聖句：主よ、お話しください。しもべは聞いております。サムエル記上3章9節

☆ 0歳児：神さまに守られ、それぞれのペースで園生活に慣れていく。安心できる大人のそばに、ありのままにいられる。草花や小さな虫を見たり触れたりする。(保育者は) 穏やかなまなざし、やさしい言葉かけをしながら一人ひとりを大切に受け入れる。

☆ 1～2歳児：祈り讃美歌が気持ちよくうれしい時になる。自分の周りに目が向いて関わろうとする。自然の音や色に気づいて触れていく。(保育者は) 子どもの姿からその思いを感じ、共にいることを大切にする。

☆ 3歳児：日常生活の中で保育者や友だちと讃美し祈り、神さまを身近に感じる。新しい環境や関りに安心し、いろいろなことにチャレンジする。自然の中で心を解放し、心地よさを感じながら動き出す。(保育者は) 子どもたちが何に目を留め、何を感しているのかをよく見て共感する。

☆ 4～5歳児：やってみたい遊びに自分から動き出し心に向ける中で、友だちや保育者と共に過ごすことを喜ぶ。身近な自然を心地よく感じ、見たり、触れたり、試したりする。(保育者は) 子どもの思いに共感をもって関わり、興味関心を細やかにこたえ環境を工夫する。保護者にも共感をもって言葉をかける。

乳幼児期の子育てにおいて大人が気をつけること①～3歳までは叱らなくていい～

前任地の幼稚園から通算して園長を務めて20年になりました。園長になって気づいたこと、また今流行りとなった社会人入試で大学院で教育学を学んだ中で気づかされた大切なことが何点かありますが、今回1つを紹介します。

まず「3歳までは叱る必要がない」ということ。これは0～2歳児までは「受容的応答的対応」が大切である(保育所保育指針より)ことと関係します。まず言葉の獲得は感情のコントロールと密接に関連していることが研究結果でわかってきました。自分の気持ちを言葉で伝えることができるようになる中で相手の思いを受

け入れることができるようになり、それがだいたい3歳くらいから始まります。3歳までは叱られても「嫌なことをされた(言われた)」という記憶がインプットされるだけでほとんど教育効果はないと言われています。むしろ「嫌だったね」「怖かったね、でも大丈夫だよ」というような「受容的応答的対応」によって安心して過ごし、安定した関係を他者と築いていくことができるようになることが3歳までに何より大切です。子どもの姿=大人の評価になりがちですからついつい大人から見た“良い子”にしたい思いに駆られますが、3歳までは子どもの思いに寄り添って過ごすことが何より大切なしつけになります。 園長:久保田愛策

年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節